

鹿児島県において実施を計画している訓練について (全 般)

①「令和8年度米国主催多国間共同訓練（ヴァリアントシールド2026）」

【訓練の目的】

自衛隊の戦術技量の向上を図るとともに、同盟国及び同志国との連携強化により、インド太平洋地域における抑止力・対処力を強化するもの。

【訓練の沿革】

「ヴァリアントシールド」は、2006年から隔年で米国が実施している統合訓練(実動訓練)です。米国からの招待を受け、前回(2024年)に続き自衛隊及び諸外国が本訓練に参加します。

【訓練の実施場所及び期間】

- 訓練期間: 令和8年6月22日(月)～7月1日(水) ※前後1週間程度の準備及び撤収期間を予定
- 訓練実施場所: 訓練はグアム、ハワイを含むインド太平洋地域の広範なエリアで実施されます。自衛隊は主に日本周辺海空域及び日本国内の自衛隊施設、在日米軍施設等において、各種の訓練を実施します(米国以外の参加国のアセットによる日本への来訪は予定されていません。)

②「令和8年度米海兵隊との実動訓練（レゾリュート・ドラゴン26）」

【訓練の目的】

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。

また、一部の訓練では、離島域において日米共同の災害対処訓練を実施します。

【訓練の沿革】

令和3年度に初めて実施し、本年度が6回目。

【訓練の実施場所及び期間】

- 訓練期間: 令和8年6月20日(土)～6月30日(火) ※前後1週間程度の準備及び撤収期間を予定
- 訓練実施場所: 大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県及び沖縄県の自衛隊施設、在日米軍基地及び生地等において、様々な訓練を実施します。

令和8年度米国主催多国間共同訓練（ヴァリアントシールド2026） 訓練実施場所（日本国内）

※写真はイメージです

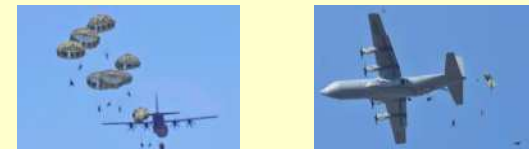
⑤ 共同衛生訓練 （松島、横田、入間、横須賀、岩国等）



② 共同統合対艦戦闘訓練 （奄美駐屯地、奄美大島分屯基地、 奄美大島（生地）、鹿屋）



③ 共同空挺降下訓練 （北海道大演習場）



※その他、千歳、入間、南恵庭、習志野を後方支援施設として使用

① 共同対航空戦闘訓練 （千歳、奥尻島、車力）



※その他、入間基地を防空指令所として使用

④ 共同滑走路復旧等訓練 （芦屋、築城）



※本訓練は、日本国内の他、グアム、ハワイを含むインド太平洋地域の広範なエリアで実施されます。

令和8年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン26) について

【訓練の目的】

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。

また、一部の訓練では、離島域において日米共同の災害対処訓練を実施します。

【訓練の沿革】

令和3年度に初めて実施し、本年度が6回目

【訓練の実施場所及び期間】

➤ 訓練期間：令和8年6月20日（土）～30日（火）

(本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定)

➤ 訓練実施場所：大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県及び沖縄県の下記の場所

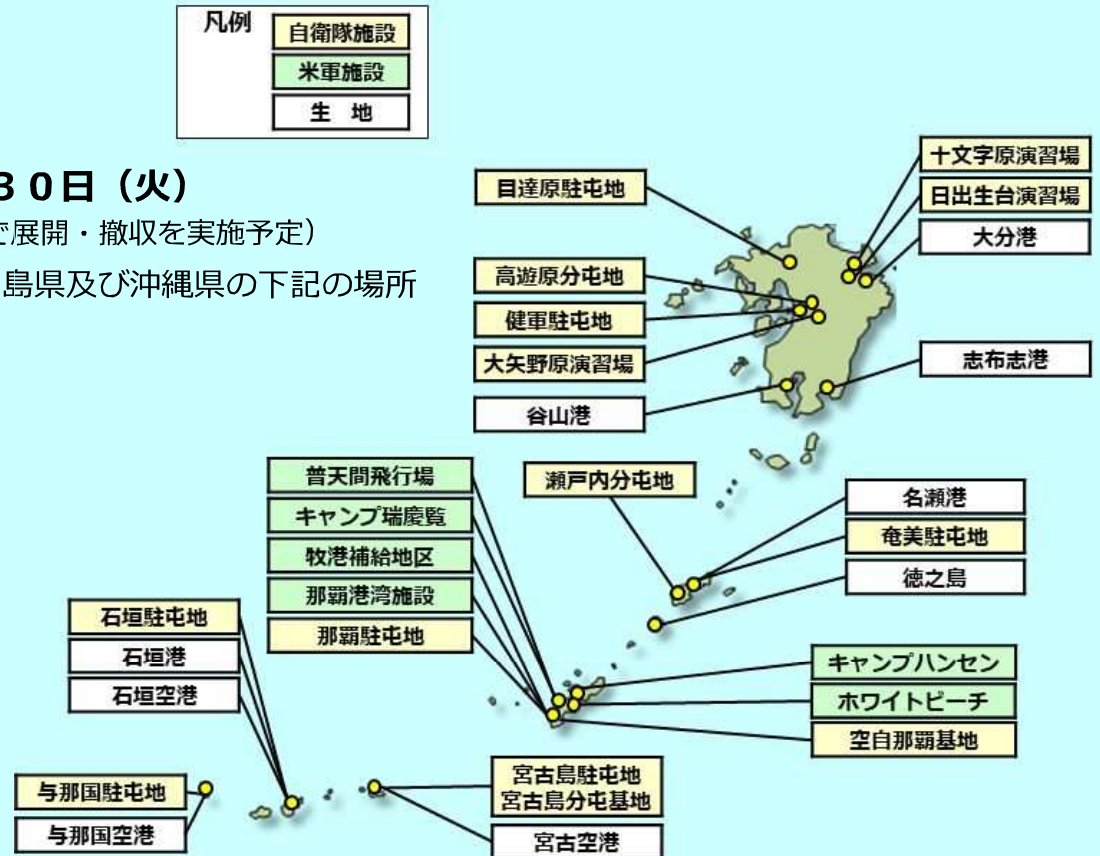
- ・大分県：陸上自衛隊日出生台演習場、
陸上自衛隊十文字原演習場、
大分港

- ・佐賀県：陸上自衛隊目達原駐屯地

- ・熊本県：陸上自衛隊健軍駐屯地、
陸上自衛隊高遊原分屯地、
陸上自衛隊大矢野原演習場

- ・鹿児島県：志布志港、谷山港、
陸上自衛隊奄美駐屯地、
陸上自衛隊瀬戸内分屯地、名瀬港、徳之島

- ・沖縄県：県内の一部の自衛隊施設、在日米軍施設、宮古空港、石垣空港、石垣港、与那国空港



レゾリュート・ドラゴン26における訓練内容等（基準）

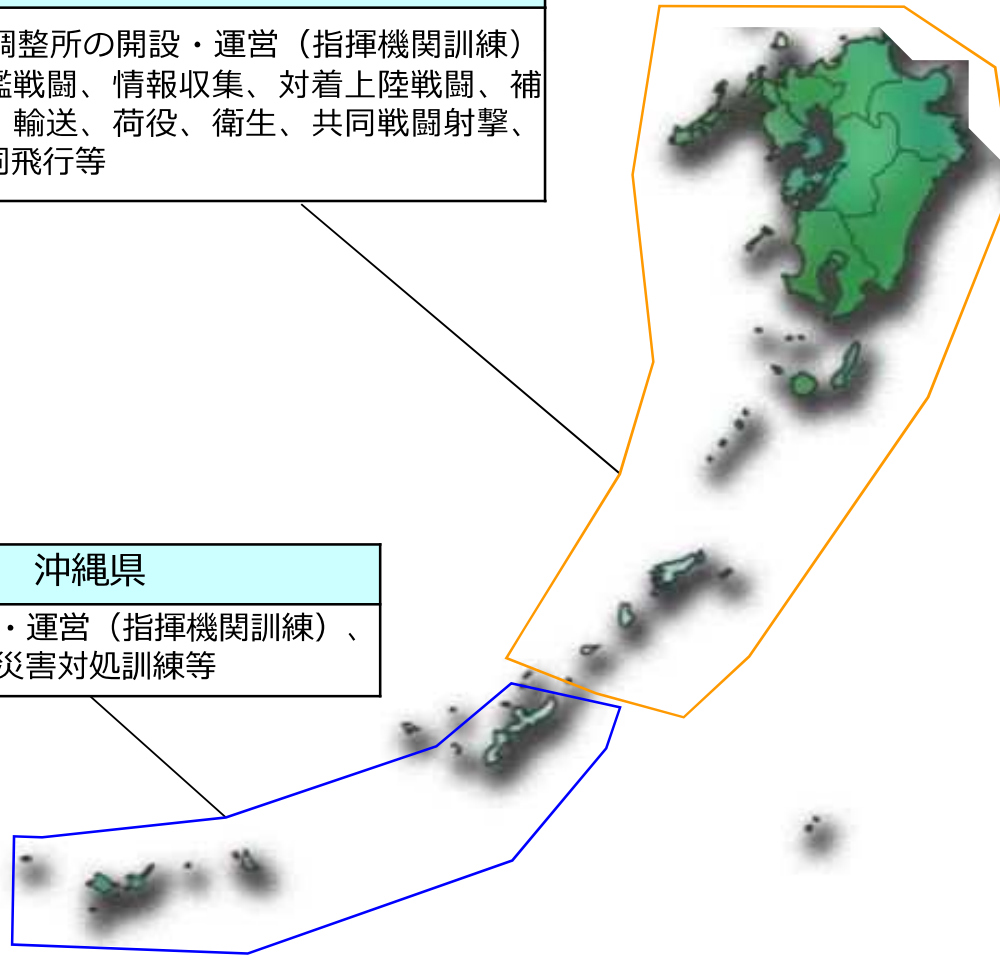
九州

（大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県）

調整所の開設・運営（指揮機関訓練）
対艦戦闘、情報収集、対着上陸戦闘、補給、輸送、荷役、衛生、共同戦闘射撃、共同飛行等

沖縄県

調整所の開設・運営（指揮機関訓練）、
災害対処訓練等



谷山港の使用について

鹿児島県

谷山港においては、陸上自衛隊及び自衛隊海上輸送群による弾薬及び車両の荷役訓練を実施する計画です。弾薬を搭載した車両及び12式地对艦誘導弾の車両を自衛隊海上輸送群の小型級船舶「にほんばれ」に搭載・揚陸します。同船舶は搭載完了後、名瀬港に向けて出港します。

【期 間】 令和8年6月20日（土）（搭載）

令和8年6月29日（月）（揚陸）

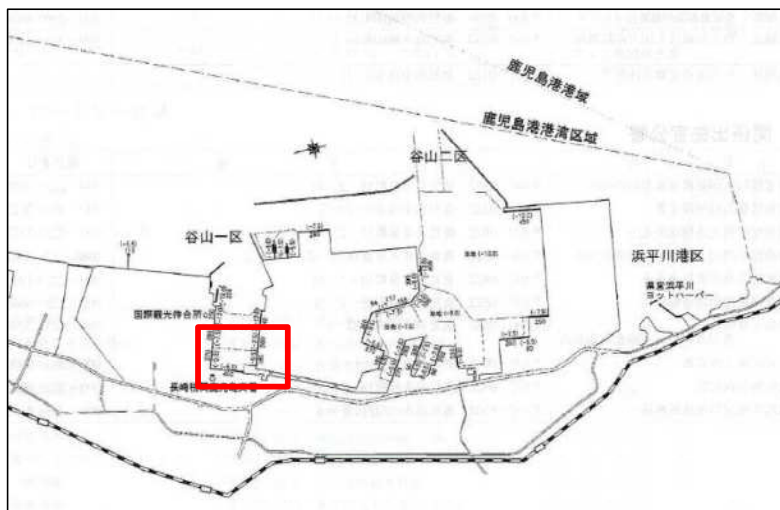
【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約20名（補給本部、中央輸送隊及び第2特科団、12式地对艦誘導弾、弾薬運搬車）

自衛隊海上輸送群 約45名（第2海上輸送隊、小型級船舶「にほんばれ」）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所

谷山港



南栄地区谷山5号岸壁
を使用予定

訓練イメージ



12式地对艦誘導弾



小型級船舶「にほんばれ」

志布志港の使用について

鹿児島県

志布志港においては、準備訓練として、陸上自衛隊及び自衛隊海上輸送群による補給品コンテナの事前集積を実施するほか、コンテナの荷役訓練を実施する計画です。

事前に大分港で積載した補給品コンテナ約70個に加えて、新たに志布志港において補給品コンテナ約20個を、中央輸送隊のクレーン操作により、自衛隊海上輸送群の中型級船舶「ようこう」に搭載します。同船舶は搭載完了後、名瀬港に向けて出港します。

- 【期 間】 令和8年6月15日(月)～19日(金) (準備訓練) コンテナの事前集積
令和8年6月20日(土)～21日(日) コンテナ荷役訓練
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約30名(西部方面総監部、第2特科団、補給本部、中央輸送隊、160tトラックレーン)
自衛隊海上輸送群 約70名(第1海上輸送隊、中型級船舶「ようこう」)

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所

志布志港

観光船バース
(予定)



訓練イメージ



事前集積及び荷役訓練



「ようこう」で海上輸送

名瀬港の使用について

鹿児島県

名瀬港においては、谷山港から自衛隊海上輸送群の小型級船舶「にほんばれ」により海上輸送した弾薬を搭載した車両及び12式地对艦誘導弾の車両を荷役（揚陸）し、瀬戸内分屯地への輸送訓練を実施する計画です。

また、陸上自衛隊及び自衛隊海上輸送群による補給品コンテナの荷役・輸送訓練を実施する計画です。自衛隊海上輸送群の中型級船舶「ようこう」により海上輸送したコンテナ（補給品及び弾薬を搭載）約90個を、中央輸送隊のクレーン操作により揚陸。西部方面後方支援隊のフォークリフト操作により同隊のコンテナトレーラに搭載し、瀬戸内分屯地及び奄美駐屯地に輸送します。

- 【期 間】 令和8年6月23日（火） 12式地对艦誘導弾の揚陸・輸送訓練
令和8年6月24日（水）～26日（金） コンテナ荷役・輸送訓練、搭載訓練
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約70名（西部方面総監部、補給本部、中央輸送隊、第2特科団、西部方面後方支援隊、160tトラッククレーン、23tフォークリフト×2、コンテナトレーラ×6、12式地对艦誘導弾、弾薬運搬車）
自衛隊海上輸送群 約110名（中型級船舶「ようこう」、小型級船舶「にほんばれ」）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所

名瀬港



観光船バース
(予定)

訓練イメージ



中型級船舶「ようこう」



コンテナトレーラに搭載・輸送



小型級船舶「にほんばれ」



12式地对艦誘導弾

奄美駐屯地の使用について

鹿児島県

奄美駐屯地においては、日米共同での情報収集訓練、非実射による対艦戦闘訓練、補給・輸送訓練、米軍のヘリによる離着陸訓練を実施する計画です。

情報収集訓練においては、電波を発射しません。

また、自衛隊海上輸送群によって名瀬港へ輸送された弾薬、コンテナ等を、トレーラーにより奄美駐屯地等まで輸送します。

- 【期 間】 令和8年6月20日（土）～30日（火） ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約300名（第8師団、第2特科団、西部方面後方支援隊、補給本部、中央輸送隊、コンテナトレーラ×6台程度、特大型トラック×2台程度、25tフォークリフト×2台程度、12式地对艦誘導弾等）
- 米 軍：米海兵隊・米空軍 約20名（第12海兵沿岸連隊、第1海兵航空団、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度、CH-53×4機程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



12式地对艦誘導弾



米AH-1Z



米UH-1Y



米CH-53

瀬戸内分屯地の使用について

鹿児島県

瀬戸内分屯地においては、陸上自衛隊が補給・輸送訓練を実施する計画です。

自衛隊海上輸送群の小型級船舶「にほんばれ」によって名瀬港へ輸送された、弾薬を搭載した車両、12式地对艦誘導弾の車両及びコンテナを、自走及びトレーラーにより瀬戸内分屯地まで輸送するとともに、12式地对艦誘導弾の燃料注入訓練を実施します。

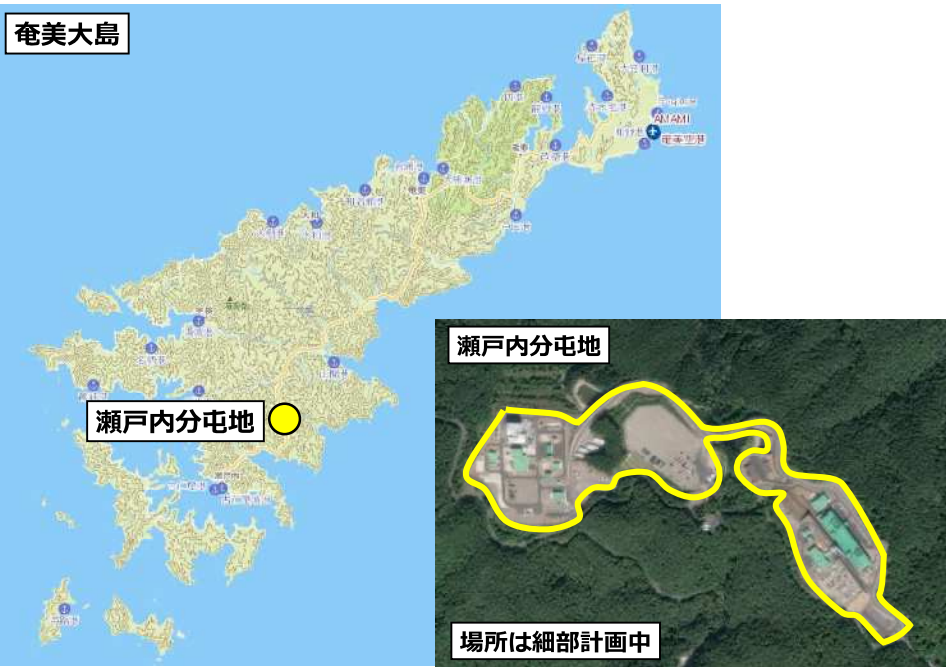
【期 間】 令和8年6月20日(土)～30日(火) ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約100名(第2特科団、西部方面後方支援隊、補給本部、大分弾薬支処、12式地对艦誘導弾、弾薬運搬車、コンテナトレーラ×6台程度、特大型トラック×6台程度、25tフォークリフト×2台程度等)

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所

奄美大島



訓練イメージ



補給・輸送訓練



燃料注入訓練

奄美大島分屯基地の使用について

鹿児島県

奄美大島分屯基地においては、陸上自衛隊が情報収集訓練を実施するほか、NEWS（ネットワーク電子戦システム）による電磁波訓練を実施する計画です。

電磁波訓練においては、実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】 令和8年6月20日（土）～30日（火） ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定
【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約15名（西部方面システム通信群、第7地对艦ミサイル連隊、SRU（レーダー装置）、NEWS（ネットワーク電子戦システム）等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所

奄美大島



訓練イメージ



SRU（レーダー装置）



NEWSによる電磁波訓練

鹿児島県

奄美大島の生地使用について

奄美大島では、笠利崎灯台においては、日米共同でのマリンレーダ等による沿岸監視訓練及び陸上自衛隊の電磁波訓練を、倉崎海岸においては陸上自衛隊の無人偵察機（スキャンイーグル）、あやまる岬観光公園においては、陸上自衛隊の無人偵察機（スキャンイーグル）及び米軍の無人偵察機（ストーカー）の飛行による情報収集訓練を実施する計画です。

また、各生地においては、陸上自衛隊が非実射による対艦戦闘訓練、NEWS（ネットワーク電子戦システム）による情報収集訓練・電磁波訓練及びSSM統制装置を使用した指揮所訓練等を実施する計画です。

沿岸監視訓練及び電磁波訓練においては、実際に電波を放射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。
 ※沖縄から九州本土の訓練に参加する米軍の航空機が奄美空港で燃料補給する可能性があります。

【期 間】 令和8年6月20日（土）～26日（金） ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定
 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約300名（西部方面情報隊、第5地对艦ミサイル連隊、第7地对艦ミサイル連隊、西部方面システム通信群、第8情報隊、第8偵察隊、第15偵察隊、マリンレーダ、無人偵察機（スキャンイーグル）、12式地对艦誘導弾、SRU（レーダー装置）、RRU（中継装置）、NEWS（ネットワーク電子戦システム）、SSM統制装置等）
 米 軍：米海兵隊・米空軍 約20名（第12海兵沿岸連隊、第1航空支援作戦群、マリンレーダ、無人偵察機（ストーカー）等）
 注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所

番号	場 所
①	笠利崎灯台下
②	笠利県道脇
③	あやまる岬観光公園
④	倉崎海岸
⑤	太陽が丘総合運動公園
⑥	旧奄美空港
⑦	奄美パーク
⑧	明神崎展望台駐車場

①～③：日米共同での使用



使用場所	訓練内容	使用装備品
⑤ ⑥	対艦戦闘訓練（非実射）	12 LAU
⑤ ⑥	指揮所訓練	SSM統制装置
① ② ③ ④ ⑤	沿岸監視・情報収集訓練（宿泊含む。）	SRU、SE、ストーカー、マリンレーダ
① ⑦	電磁波訓練	NEWS
⑧	無線中継所	RRU

訓練イメージ



無人偵察機（スキャンイーグル）



無人偵察機（ストーカー）



マリンレーダによる沿岸監視訓練

※海上の船舶の探知を実施



NEWSによる電磁波訓練

鹿児島県

徳之島の生地使用について

徳之島では、下記の地域で各種訓練を実施する計画です。

- 手々海浜公園では、陸上自衛隊の無人偵察機（スキャンイーグル）の地上器材及びマリンレーダ等による情報収集訓練
- 喜念浜海浜公園、花徳海岸及び下久志海浜公園においては、マリンレーダによる情報収集訓練
- 犬田布岬では米軍の無人偵察機（ストーカー）、陸上自衛隊の無人偵察機（スキャンイーグル）の飛行及びマリンレーダ等による情報収集訓練
- 前泊漁港では、ALPV（半潜水型無人艇）を使用した物資輸送訓練
- 徳之島ヘリポート又は総合運動公園では、米軍ヘリによる離着陸訓練

また、伊仙町体育館又は天城町農業センター又は天城町立兼久地区振興センター等を宿泊基盤として使用する計画です。

情報収集訓練では、実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運行等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】 令和8年6月20日（土）～26日（金） ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約90名（北部方面隊、中部方面隊、無人偵察機（スキャンイーグル）、マリンレーダ等）

米 軍：米海兵隊・米空軍 約20名（第12海兵沿岸連隊、第1航空支援作戦群、無人偵察機（ストーカー）、マリンレーダ、ALPV（半潜水型無人艇）×1艇程度、CH-53×2機程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



■ : 日米共同での使用

訓練イメージ



マリンレーダによる沿岸監視訓練

※海上の船舶の探知を実施



無人偵察機（スキャンイーグル）



米CH-53



米軍無人偵察機（ストーカー）

日米共同訓練の参加に伴う米陸軍のミサイルシステム タイフーン及びハイマースの鹿屋航空基地への一時展開について

令和8年5月
防衛省

- 米陸軍のミサイルシステム タイフーン及びハイマース(米太平洋陸軍第3マルチドメイン・タスクフォース)が、令和8年6月から9月の間に予定されている複数の日米共同訓練に参加するため、海上自衛隊 鹿屋航空基地に一時展開する予定です。
- いずれのアセットも、本年9月に実施される共同訓練「オリエント・シールド」が終了後、撤収のための作業を経たうえで、10月中旬を目途に鹿屋航空基地より撤収され、在日米軍基地に保管されます。
- 高い機動性を有する米軍のアセットを自衛隊施設に一時展開させ、日米間で共同訓練を積み重ねることは、米軍の機動展開能力を向上させるとともに、日米の即応性や相互運用性を向上させ、日米同盟の抑止力・対処力を一層強化させることに繋がるものと考えています。
- こうした意義に加えて、自衛隊の部隊運用と両立可能であること、アセットの航空輸送に必要な施設・設備を備えていること、一時展開できる地積を備えていること等を総合的に検討し、今般、鹿屋航空基地を使用することとしました。

展開予定場所

















鹿屋航空基地：場所は細部計画中。

共同訓練の概要(現時点)

- タイフーン及びハイマースは令和8年6月22日～7月1日に実施される「ヴァリアントシールド2026」(共同対艦戦闘訓練等を実施予定)、令和8年9月「オリエント・シールド26」等に参加予定です。
- 参加する日米の部隊は、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を演練します。
- その他参加予定の共同訓練の実施要領や日米の参加部隊等については、現在、日米間で調整中です。
- なお、今般の一時展開において、タイフーン及びハイマースの実射訓練は行いません。

(参考) タイフオン及びハイマースの概要

	タイフオン・ウェポン・システム Typhon Weapon System	ハイマース (高機動ロケット砲システム) High <u>M</u> obility <u>A</u> rtillery <u>R</u> ocket <u>S</u> ystem												
外観	 <p>発射機</p> <p>出典：米陸軍公式ホームページ</p>	 <p>出典：米陸軍公式ホームページ</p>												
概要	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="163 711 327 841">全般</td> <td data-bbox="327 711 1087 841">トマホーク及びSM-6を運用する地上発射型の長距離ミサイルシステム。高い機動展開能力を有し、戦況に応じ様々な場所への展開が可能。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 841 327 935">構成</td> <td data-bbox="327 841 1087 935">指揮統制システム×1、発射機×2、支援器材 (いずれも車両型)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 935 327 1094">展開実績</td> <td data-bbox="327 935 1087 1094">令和7年度米海兵隊等との実動訓練「レゾリュート・ドラゴン」において米軍岩国飛行場に一時展開</td> </tr> </table>	全般	トマホーク及びSM-6を運用する地上発射型の長距離ミサイルシステム。高い機動展開能力を有し、戦況に応じ様々な場所への展開が可能。	構成	指揮統制システム×1、発射機×2、支援器材 (いずれも車両型)	展開実績	令和7年度米海兵隊等との実動訓練「レゾリュート・ドラゴン」において米軍岩国飛行場に一時展開	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1108 711 1260 841">全般</td> <td data-bbox="1260 711 2034 841">米陸軍が開発した自走多連装ロケット砲。長射程ミサイル等を運用し、精密攻撃能力を有する。高い機動展開能力を有し、戦況に応じ様々な場所への展開が可能。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1108 841 1260 935">構成</td> <td data-bbox="1260 841 2034 935">発射機、支援器材 (いずれも車両型)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1108 935 1260 1094">展開実績</td> <td data-bbox="1260 935 2034 1094">統合訓練「ヴァリアントシールド」、米海兵隊との実動訓練「レゾリュート・ドラゴン」、米陸軍との実動訓練「オリेंट・シールド」等、複数の共同訓練に参加</td> </tr> </table>	全般	米陸軍が開発した自走多連装ロケット砲。長射程ミサイル等を運用し、精密攻撃能力を有する。高い機動展開能力を有し、戦況に応じ様々な場所への展開が可能。	構成	発射機、支援器材 (いずれも車両型)	展開実績	統合訓練「ヴァリアントシールド」、米海兵隊との実動訓練「レゾリュート・ドラゴン」、米陸軍との実動訓練「オリेंट・シールド」等、複数の共同訓練に参加
全般	トマホーク及びSM-6を運用する地上発射型の長距離ミサイルシステム。高い機動展開能力を有し、戦況に応じ様々な場所への展開が可能。													
構成	指揮統制システム×1、発射機×2、支援器材 (いずれも車両型)													
展開実績	令和7年度米海兵隊等との実動訓練「レゾリュート・ドラゴン」において米軍岩国飛行場に一時展開													
全般	米陸軍が開発した自走多連装ロケット砲。長射程ミサイル等を運用し、精密攻撃能力を有する。高い機動展開能力を有し、戦況に応じ様々な場所への展開が可能。													
構成	発射機、支援器材 (いずれも車両型)													
展開実績	統合訓練「ヴァリアントシールド」、米海兵隊との実動訓練「レゾリュート・ドラゴン」、米陸軍との実動訓練「オリेंट・シールド」等、複数の共同訓練に参加													
搭載ミサイル	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="191 1159 567 1349">  </td> <td data-bbox="707 1149 1018 1354">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="191 1354 567 1498"> 出典：レイセオン社公式ホームページ トマホーク (射程：約1600km) </td> <td data-bbox="707 1354 1018 1498"> 出典：米海軍公式ホームページ SM-6 (射程：推定約370km) ※射程はいずれも公開ベース </td> </tr> </table>			出典：レイセオン社公式ホームページ トマホーク (射程：約1600km)	出典：米海軍公式ホームページ SM-6 (射程：推定約370km) ※射程はいずれも公開ベース	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1159 1127 1388 1430">  </td> <td data-bbox="1682 1131 1892 1390">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1159 1430 1388 1498"> 出典：ロッキード・マーチン社公式ホームページ GMLRS (射程：約70km) </td> <td data-bbox="1682 1390 1892 1498"> 出典：ロッキード・マーチン社公式ホームページ ATACMS (射程：約300km) ※射程はいずれも公開ベース </td> </tr> </table>			出典：ロッキード・マーチン社公式ホームページ GMLRS (射程：約70km)	出典：ロッキード・マーチン社公式ホームページ ATACMS (射程：約300km) ※射程はいずれも公開ベース				
														
出典：レイセオン社公式ホームページ トマホーク (射程：約1600km)	出典：米海軍公式ホームページ SM-6 (射程：推定約370km) ※射程はいずれも公開ベース													
														
出典：ロッキード・マーチン社公式ホームページ GMLRS (射程：約70km)	出典：ロッキード・マーチン社公式ホームページ ATACMS (射程：約300km) ※射程はいずれも公開ベース													